

日 時:令和6年11月13日(水)10:00~11:30

場 所:瀬戸内市地域生活支援センター スマイル

○開会挨拶:部会長

【報告事項】

○備前圏域自立支援協議会事務局連絡会。市町村自立支援協議会事務局連絡会について

○春15の会について（圏域での取り組み）

○瀬戸内市福祉サービス事業所向け勉強会について

○児童通所連絡会より（自閉症啓発 なないろたまごの制作について）

○基幹相談支援、担当者変更について（R6.10月変更）

○協議会年間スケジュールについて（変更点の共有）

【グループワーク】 2グループに分かれて、それぞれのテーマにて協議。

○1 グループ・・・保護者や家族が見通しを持ちやすく、分かりやすい情報ツールの開発について。

- ・相談がどこか分かりにくい。（成長段階で相談窓口がわかるものは）
- ・進路先について悩む保護者が多い。中学や高校の情報をどうしたら得られるか。
- ・サポートブックづくりをし、支援者に助言をもらっていた。先輩お母さんも教えてもらった。
- ・診断書を取得するまでの大変さや、年中の時から2年をかけて小学校の就学を考える等ポイントが分かる手引きはないか。
- ・協議会で当事者の意見をまとめて、皆で共有する機会を作ってはどうか。

○2 グループ・・・教育と福祉の連携について。

- ・学校の先生が特別支援の関心が高まって協議、連携しやすくなった。
- ・学校によって意識に差がある。
- ・瀬戸内市は他の市町より連携が進んでいる。
- ・支援学級、支援員と毎年情報共有の場を設けている。
- ・学校側へどう想いを伝えたらいいか、分からない保護者が多い。相談員のニーズが高い。
- ・学校の研修の中で福祉的な話をしてもらえれば良いか。
- ・巡回相談等の役割を共有する。次につなげていく。データベースを作りたい。

【情報提供】

○岡山県医療的ケア児支援センター（第3回部会出席予定）に聞いてみたいこと

○県未来課より

- ・子育て応援フェアについて

○閉会挨拶:部会長